

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズアドベンチャーアクア		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 5日		令和8年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数) 17名
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 5日		令和8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育や専門的な支援を実施している。	40分の個別療育の中で、保育士、児童指導員、理学療法士などの支援員と1対1で運動の部屋、机上の部屋を分けて活動を行っている。	ダイナミックな運動は出来ないが、公園なども利用しながら幅を広げていく。学校に行けていない児童に対しての抛り所でもあれるように、安心・安全を第一に各部屋の環境設定、支援しやすい体制づくりを行っている。
2	イベント時は、ご両親やご兄弟も参加をいただいている。	イベント(夏祭り、クリスマス、修了式など)を通じて、家族支援を行っている。	より良い支援の提供を季節の行事にて体験しながら行うことにより、家族との関係を深めていきたい。保護者様より研修会があれば参加したいのご希望もあったので、検討もしていきたい。
3	地域のセンターとの連携会への参加をしている。	連携会に参加することで、意見交換を行い、新しい情報を得ることが出来る。	自立支援協議会の研修会にも、案内があれば、積極的に参加していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域住民との交流が少ない。	地域の方と挨拶をかわりたり、話をしたりはあるが、事業所に招待するといったことは実施していない。	企画、提案を行う必要はあるかと思われるが、まずは事業所内で話し合いを行ってどのような交流が子どもたちも含め良いのかを検討していく。
2	児童のケース会議の時間が取れない時がある。	日々の記録や、集団活動の準備、イベント活動の準備などが1年を通してあり、職員で話し合う時間が取りづらい。	支援の合間や、昼休みの時間、記録の時間等の際に、その都度児童の話をして共有している。児童の良い点や問題となっている課題を支援員全員に分かりやすい形で共有できるシステムを構築する。
3			